

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	徳田 和正
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-1
事業概要	○観光業の振興を図るための組織体制等の充実		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美せとうち観光協会運営費補助金		
施策の目的	奄美大島全体の動きを見据え、奄美せとうち観光協会と連携しながら観光組織体制の充実を図る。		
具体的な施策内容	奄美せとうち観光協会運営費を助成し、組織の体制を整え、観光案内や、ホームページの更新、ガイドマップを作成し、島コーディネーターと連携した観光振興を行った。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳					
節	細節	費目名				金額	細節	費目名						
18		奄美せとうち観光協会運営費補助金				4,000		一般財源				4,000		
計						4,000	計						4,000	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
観光協会会員数	目標	65	70	75	75	75	B
	実績	61					
	目標						
	実績						

【評価】

コロナ禍により旅行等が、規制されたため、観光客が激減したため、充実した活動ができなかった。
 今後は本協会を活用し、世界自然遺産登録後の観光客の増加を見据えた、観光促進ができるよう関係団体と協力しながら、組織体制の充実を図る。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	徳田 和正
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-1
事業概要	○大型客船の誘致など宣伝誘致活動の推進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	客船受入協議会補助金		
施策の目的	世界自然遺産登録後の国内外の観光客の増加を見据え、大型客船の誘致などの宣伝誘致活動の推進を図る。充実を図る。		
具体的な施策内容	九州クルーズ振興協会のホームページに、古仁屋港の情報を提供し掲載して、PR活動を行った。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額	細節	費目名			金額							
18		客船受入協議会補助金			0		一般財源			0							
		計			0		計			0							

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
大型客船受入件数	目標	3	5	5	5	5	D
	実績	0					
	目標						
	実績						

【評価】

コロナ禍により旅行等が、規制されたため、大型客船の寄港が1度もなく、活動もできなかった。
 今後は関係団体と協力しながら、世界自然遺産登録後の観光客の増加を見据えた、観光促進・大型客船の誘致などの宣伝誘致活動の推進を図る。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	屋田
----	-------	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-1-1
事業概要	○観光ネットワーク(琉球弧の島々とのタイアップ等)の形成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美・屋久島まち歩き連絡協議会		
施策の目的	「世界自然遺産地域の里から発信するまちづくり」をコンセプトに、奄美と屋久島それぞれの地域を掘り下げて理解するとともに、交流・連携を深め、今後の方向性や将来の旅行ツールとしての展望を探ることを目的とする。		
具体的な施策内容	H30年に奄美、屋久島の6市町村で協議会を設立し、年3回の意見交換会や、専門講師を招聘しての研修会、資源調査を行う。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
		計		0		計			0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
まち歩きガイド数(528会)	目標	10	10	10	10	10	C
	実績	2					
	目標						
	実績						

【評価】

新型コロナの影響もあり、当協議会としての活動は1回のみとなり、会員である528会のガイド活動も2回にとどまった。今後、世界自然遺産登録を見据える中、既に世界自然遺産登録地でまち歩きを確立させている屋久島との連携を強化していく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	徳田 和正
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-1
事業概要	○受入体制(人材育成・観光案内板等)の整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	観光費		
施策の目的	世界自然遺産登録後の国内外の観光客の増加を見据え、人材育成や観光案内板等の整備を行い受入体制の強化を図る。		
具体的な施策内容	町内観光地の案内看板の補修・整備を行った。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節		細節		費目名		金額			細節		費目名				金額		
10		5		修繕料		70					町費				70		
計								70	計								70

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
認定ガイド	目標	5	10	12	14	15	D
	実績	0					
案内板整備	目標	15	10	10	10	10	B
	実績	10					
	目標						
	実績						

【評価】

コロナ禍により研修会等がなくなり、ガイドの育成ができなかった。
案内板については、老朽化して壊れたものなどは、補修・整備をした。
今後は関係団体と協力しながら、世界自然遺産登録後の観光客の増加を見据えた、プロのガイド育成などの受入体制の強化を図り、観光案内板等を整備して、観光振興の推進を図る。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	花岡 香菜子
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○本町の観光スポットやおすすめコースを情報発信		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美せとうち観光協会運営費補助金		
施策の目的	観光客増加傾向の社会動向に応じた、自然・文化・歴史等の地域資源の情報発信を行い、観光振興を図る。		
具体的な施策内容	奄美せとうち観光協会ホームページや各種観光パンフレットを更新したほか、SNSにて情報発信を行った。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
18	2	奄美せとうち観光協会運営費補助金				4,000		一般財源				4,000					
計						4,000	計						4,000				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
奄美せとうち観光協会ホームページアクセス数	目標	300,000	316,000	333,000	351,000	370,000	C
	実績	285,033					
	目標						
	実績						

【評価】

新型コロナウイルス感染症の影響により実際に来訪できない期間においても、各種媒体を活用した積極的な情報発信を行った。世界自然遺産登録後の観光客の増加を見据え、今後も積極的な情報発信により、来訪意欲の向上に努める。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	花岡 香菜子
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○奄美群島の魅力を全国に向けて情報発信		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美群島観光物産広域連携事業		
施策の目的	奄美群島における観光・物産振興のための取り組みを島毎の域を越えて一元的に行い、奄美群島の観光/交流人口の拡大、特産品の販路拡大、観光物産関連事業者の育成等により群島産業の振興を図る。		
具体的な施策内容	奄美群島の観光交流人口増加に向けた一般消費者への旅行喚起施策とあわせて、キャリア及び旅行会社と連携した旅行商品造成活性化施策及び物産面のブランディングを積極的に展開し、観光来訪の促進を図った。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	1	奄美群島観光物産協会負担金				2,790		一般財源				2,790					
計						2,790	計						2,790				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
瀬戸内町への入込客数(単位:人)	目標	150,000	158,000	166,000	175,000	185,000	C
	実績	93,660					
	目標						
	実績						

【評価】

新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されていた物産展はほぼ中止となったが、出展を予定していた業者の商品でお楽しみセットを作って販売し、PRを行うことができた。旅行会社向けのプレゼンテーションイベント等も中止が相次いだ。webを活用したPRを行うことができた。

従来の観光誘客プロモーション事業等を実施し、旅行商品造成等に繋げるとともに、引き続き一般消費者向けの観光PRイベントを実施する。併せてECサイトを活用し特産品の販売促進に繋げる。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画	係名	企画振興係	担当者名	手嶋
----	----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○奄美群島と本島間の割高な運賃を軽減(航路航空運賃軽減)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美群島航空・航路運賃軽減事業		
施策の目的	住民生活を圧迫する割高な移動コストを軽減することにより、離島住民等の負担軽減を図る。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者:奄美群島住民及び群島出身学生等、その他 ・対象路線:鹿児島-奄美群島間路線、奄美群島内路線 ・航空運賃軽減額:離島割引運賃の割引率を普通運賃比約54%引、往復割引運賃の割引率を普通運賃比約28%引 ・航路運賃軽減額:路線により3,850円～900円の割引 		

【経費内訳】														
款	2	項	1	目	2	事業	1	(単位:千円)	款		項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳						歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名						
18		負担金				18,915		一般財源				18,915		
計						18,915	計						18,915	

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
瀬戸内町への入込客数の増 (単位:人)	目標	150,000	170,000	170,000	180,000	180,000	C
	実績	93,000					
	目標						
	実績						

【評価】

R1年度まで毎年増加傾向にあった奄美大島への入込客数(H23年67.3万人→R1年89.1万人)だが、R2年度においては新型コロナウイルスの影響により大幅な減少となった。

しかし、コロナ過による生活様式の変化等により場所を選ばないワークスタイルが定着しつつあり、ワーケーションやテレワークなどの新たな生活スタイルの拡大による、再度の入込客数増が見込まれている。今後においても、奄美群島航空・航路運賃軽減事業を継続し、奄美大島への入込客数の増を図る必要がある。

※当事業は、事業主体が県の為、KPI設定については町独自に設定しております。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	龍山 和彦
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	〇人が集い交流する場所の整備(加計呂麻体験交流館カフェ)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	加計呂麻島展示・体験交流館カフェ事業		
施策の目的	本町加計呂麻島の観光拠点である、「加計呂麻島展示・体験交流館」にカフェを設置し、観光客の呼び込みを図るとともに館全体の利用促進が目的。		
具体的な施策内容	諸鈍集落婦人会カフェ事業部に業務委託(R1年7月～)。 R2年度委託料3,750千円。R2年度売上収入約1,832千円。 カフェで使用する材料費については、水産観光課予算の原材料費で対応。(R2年度実績約310千円)。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
12	265	カフェ事業委託料				3,750		一般財源					4,060				
15	28	カフェ材料費				310											
計						4,060	計						4,060				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
販売売上 (単位:千円)	目標	2,000	2,000	2,500	2,700	3,000	C
	実績	1,832					
	目標						
	実績						

【評価】

現在町が全面的にバックアップして、事業を実施。業務委託の本来の趣旨に従って、将来的には自走できるように進捗を図っていきたい。
カフェの情報発信や内装、提供物については、受託者が創意工夫を施し努力していることが、伺える。今後世界自然遺産登録後やアフターコロナを見据えた、観光客の増にも柔軟に対応出来る考える。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	情報政策係	担当者名	満尾
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○本町の魅力を町公式ウェブサイト及び町公式SNSなどで発信		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	情報発信強化事業		
施策の目的	せとうち創生マニフェスト「情報発信の強化」の実現		
具体的な施策内容	町公式ウェブサイトをはじめ、町公式SNS(Twitter、Facebook、YouTube、Instagram)の有効活用による情報発信、及び民間主催による町PR作品の制作。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳					
節	細節	費目名				金額	細節	費目名						
12	249	情報発信強化事業委託料				1,353		(一般財源)				1,353		
計						1,353	計						1,353	

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
情報発信強化への取組み	目標	100	100	100	100	100	B
	実績	70					
	目標						
	実績						

【評価】※重要(“D”を踏まえ、次年度(R3)以降の事業実施にどう活かすか?など)

新型コロナの影響で、民間主催の町PR作品の大会は中止となったが広報紙、町ホームページをはじめ、SNSを有効に活用した情報発信が図られたと思う。今後も引き続き、情報発信の強化、特にSNSなどデジタルを活用した情報発信の強化・充実を図るとともに、チームせとうちの一員である役場職員の情報発信に対する意識の醸成を図っていきたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	龍山 和彦
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○シェアサイクル事業により加計呂麻島の豊かな自然を発信		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	シェアサイクル事業		
施策の目的	シェアサイクルを利用することにより、加計呂麻島での時間を有効的に活用して、自分のスケジュールで自然を満喫できるようになり、観光客の増加につながることを目的とする。		
具体的な施策内容	加計呂麻島展示・体験交流館 3台 利用人数 11人 瀬相待合所 4台 利用人数 238人 生間待合所 3台 利用人数 302人		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
12		委託料				293		一般財源				293					
計						293	計						293				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
利用人数	目標	1,000	1,500	1,800	2,000	2,200	C
	実績	551					
	目標						
	実績						

【評価】

令和2年度のシェアサイクル利用状況は、551人で、元年度の990人と比較して、439人減少しているが、これは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、旅行の自粛が、大きな要因である。
今後、新型コロナウイルスの感染が落ち着いて、世界自然遺産登録が決定した後は、利用者が激増するものと思われる為、令和3年度からは、E-bikeを導入して対応する。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	屋田 昂紀
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	〇祭りやイベント(シーカヤック、ハーフマラソン等)での交流促進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	観光イベント事業		
施策の目的	本町の自然特性を活かしたイベントを開催することで、全国の多くの方に本町の魅力を発信し、自然や文化に親しむ機会をつくり、観光振興や文化交流を促進する。また、多くの町民の一体感を増進させ、地域づくりへの創造心を醸成し、活力ある地域の形成と住民の定着を図る。		
具体的な施策内容	コロナ禍につきイベント事業はすべて中止となったが、次回大会へ向け県内でのイベントPR活動を行った。		

【経費内訳】																	
款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
12	98	奄美シーカヤックマラソン運営委託料				2,000		一般財源				2,200					
12	99	加計呂麻ハーフマラソン運営委託料				200											
計						2,200	計						2,200				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
シーカヤック大会参加者数	目標	500	250	500	500	500	D
	実績	0					
ハーフマラソン大会参加者数	目標	700	600	700	750	800	D
	実績	0					
	目標						
	実績						
【評価】							
コロナ禍によりイベントが開催できず、成果が得られなかった。 次年度以降、中止の影響により参加者の減とならないよう引き続きPR活動に努め、新規参加者及びリピーターの確保を図る。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	徳田 和正
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-2
事業概要	○観光大使が全国で活動を展開することによる本町の魅力発信		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	観光費		
施策の目的	観光大使が、全国で活動を展開することにより、本町の魅力を発信して観光振興に寄与することを目的とする。		
具体的な施策内容	コロナ禍により観光大使としての活動する機会が、なかった。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳								
節	細節	費目名				金額		細節	費目名							
		必要経費なし														
		計				0			計					0		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
観光大使としてのイベント数	目標	1	3	3	3	3	D
	実績	0					
	目標						
	実績						

【評価】

コロナ禍により観光大使として活動する機会がなくなり活動ができなかった。
 今後はコロナ終息後に、世界自然遺産登録後の本町の魅力を発信して、観光振興の推進を図る。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○高校と町の連絡体制づくり(古仁屋高校コーディネーター)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域おこし協力隊事業(高校コーディネーター)		
施策の目的	古仁屋高等学校の活性化に向け、高校の魅力発信、地域みらい留学制度のPR活動及び地元企業での生徒の体験学習など企画・実施する。 また、寮生が寮生活から自主性及び協調性をつけるためのサポートを行いながら、地元の高校生や地域の方々との関わり合いによるコミュニケーション能力を向上させるための活動も行う。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> 古仁屋高校支援担当(古仁屋高校振興コーディネーター) 生徒募集活動・広報活動(企画立案・資料作成・イベント参加等) 古仁屋高校生徒寮の管理・運営に伴う事務 古仁屋高校活性化事業に伴う事務全般 古仁屋高校生徒寮を住居とした各種活動の展開 		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	3	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7	074	報償費				4,800	(一般財源)					6,080					
10		需用費				207											
11		役務費				174											
13		家屋借上料等				812											
14		備品購入費				62											
26		公課費				25											
計						6,080	計					6,080					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
転入者数(人)	目標	470	470	470	470	470	B
	実績	417					
入込客数(人)	目標	157,000	164,000	171,000	178,000	185,000	C
	実績	93,660					
町内中学卒業生の古仁屋高等学校進学率(%)	目標	40.0	42.5	45.0	47.5	50.0	C
	実績	32.9					

【評価】

町内中学卒業生の古仁屋高等学校進学率を上げるための計画づくり

- 古仁屋高校生からまちづくりに関わる流れや仕組みづくり
- 将来、瀬戸内町に戻り、まちづくりの担い手となる人材の育成
- 瀬戸内町内外への情報発信により、2学級復活が認められるための生徒数の増加
- 古仁屋高校だからできること、古仁屋高校でしか学べないことの創造

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	古仁屋高校活性化対策室	担当者名	勝田 忠広
----	-----	----	-------------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○町外や町内遠隔地からの生徒のため古仁屋高校の寮を整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業(男子寮)		
施策の目的	「地域みらい留学生等」が安全・安心に居住でき、3年間古仁屋高校に通う同志と共に瀬戸内町を知り、地域を知り、仕事を知り、その中でコミュニケーション能力を学び、さらに留学生にとって瀬戸内町が第2の故郷として選択肢の中に生まれることを最終的目標とし、学びの場の拠点として運営することを目的とする。		
具体的な施策内容	・寮生が安全に居住できる環境づくり、寮生が安心して食事が食べられる環境づくりのために夜のコーディネーターとして寮監を配置し、1日2回(朝・夜)の食事を業務委託することで、安定的な運営を行っている。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	5	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
10		需用費				9,782		一般財源				20,405					
11		役務費				132											
12		委託料				10,311											
13		使用料及び賃借料				33											
17		備品購入費				96											
18		負担金、補助金及び交付金				51											
計						20,405	計						20,405				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
寮の受け入れ数	目標	11人	14人	14人	14人	14人	A
	実績	11人					
【評価】							
・31年度より開寮した男子寮であるが、予定人数通りに受け入れることが出来た。来年度以降も、各学年毎にバランスの取れた受け入れを進めていくこととする。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	古仁屋高校活性化対策室	担当者名	勝田 忠広
----	-----	----	-------------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○町外や町内遠隔地からの生徒のため古仁屋高校の寮を整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業(女子寮)		
施策の目的	「地域みらい留学生等」が安全・安心に居住でき、3年間古仁屋高校に通う同志と共に瀬戸内町を知り、地域を知り、仕事を知り、その中でコミュニケーション能力を学び、さらに留学生にとって瀬戸内町が第2の故郷として選択肢の中に生まれることを最終的目標とし、学びの場の拠点として運営することを目的とする。		
具体的な施策内容	・寮生が安全に居住できる環境づくり、寮生が安心して食事が食べられる環境づくりのために夜のコーディネーターとして寮監を配置し安定的な運営を行っている。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名								
10		需用費				1,497			一般財源				7,436				
11		役務費				232											
12		委託料				3,342											
13		使用料及び賃借料				0											
17		備品購入費				2,365											
18		負担金、補助金及び交付金				0											
計						7,436		計						7,436			

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
寮の受け入れ数	目標	7人	10人	10人	10人	10人	A
	実績	7人					

【評価】

・今年度より女子寮が開寮し、予定人数通りに受け入れることが出来た。来年度以降も、各学年毎にバランスの取れた受け入れを進めていくこととする。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	総務係	担当者名	静島 春玲
----	----------	----	-----	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○町外から古仁屋高校へ通う留学生の経済的負担を軽減		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校留学生徒扶助費		
施策の目的	瀬戸内町の最高学府である古仁屋高校の存続及び振興・活性化を支援するため、町外から古仁屋高校へ入学した生徒へその費用の一部を扶助し、留学生の経済的費用負担の軽減を図ることを目的とする。		
具体的な施策内容	瀬戸内町を除く大島本島地区からの入学生には月40,000円を、大島本島地区以外からの入学生には月50,000円を助成		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	2	款	15	項	2	目	8	節	1
(単位:千円)								(単位:千円)							
歳出内訳								歳入内訳							
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額			
19	44	留学生徒扶助費				11,650	3	(奄振)留学支援事業ひ補助金				5,592			
								(一般財源)				6,058			
計						11,650	計						11,650		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
古仁屋高校への支援	目標	/	100%	100%	100%	100%	A
	実績	100%	/	/	/	/	
	目標						
	実績		/	/	/	/	

【評価】

男子寮に引き続き女子寮が設置され、令和元年度9名、令和2年度19名、令和3年度24名の留学生が在籍しており、古仁屋高校の存続及び活性化に繋がっている。

※KPIは活用率。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地	担当者名	勝田 忠広
----	-----	----	------	------	-------

基本目標	2	項目	2-1-3
事業概要	○本町での充実した高校生活を提供(地域みらい留学生)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業		
施策の目的	町外から来ている地域みらい留学生が、本町において充実した高校生活を送れるよう、古仁屋高校活性化対策専門に会計年度任用職員を配置し、振興コーディネーターと共に寮管理運営や学校との連携を図り、官官学の共通理解を図っていくことが目的である。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・寮費の管理、委託業者への支払い、寮運営に伴う光熱水費や通信料 ・月1回の寮ミーティング ・学校との情報交換会 ・寮イベントの協力等 		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
1		報酬				499		一般財源				674					
3		職員手当等				19											
7		報償費				60											
11		役務費				96											
		計				674		計				674					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
体験学習や体験実習	目標	2回	2回	3回	3回	3回	C
	実績	0回					
	目標						
	実績						

【評価】

・今年度は、会計年度任用職員で対応したが、次年度からは、より一層の活性化の充実を図るため、地域おこし協力隊を採用し、さらに専門性を高めていく考えである。
 ・学校や地域との関係性を強化しつつ、体験学習や体験実習を実施して考えである。
 ・今年度は、コロナ禍により体験学習や実習が出来なかったため、3年度以降は1つでも多く体験できよう計画を立てたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画	係名	企画振興係	担当者名	手嶋
----	----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-1-4
事業概要	○町外の若者とともに地域課題に取り組む(地域おこし協力隊)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域おこし協力隊事業		
施策の目的	都市圏などから本町へ移住し、集落の維持活性化に係る活動、地域行事に係る支援などを行いながら本町への定住・定着を図る事を目的とする。		
具体的な施策内容	地域協力活動(小林隊員R2.6月末まで配置、伊藤隊員R2.10月末まで配置) ・移住交流事業の支援 ・地域資源(観光・特産品)の発掘、振興 ・農林水産業の振興に係る支援 ・集落の生活環境維持に係る支援 ・高齢者の見守りに係る支援 ・地域行事に係る支援 ・集落の維持活性化に係る活動		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	3	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7		報償費				1,600	一般財源					2,840					
10		需用費				208											
11		役務費				174											
13	14	家屋借上料				91											
13		使用料及び賃借料				220											
18		補助金				521											
26		公課費				26											
計						2,840	計						2,840				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
協力隊の受入れ人数	目標	2	2	2	2	2	A
	実績	2	/	/	/	/	
協力隊の卒業後の定住率	目標	60%	60%	60%	60%	60%	A
	実績	87.5%	/	/	/	/	
卒業隊員の起業支援活用実績	目標	50%	50%	50%	50%	50%	A
	実績	50%	/	/	/	/	

【評価】

●R2年度は地域活性化活動として加計呂麻地区及び西方地区で活動を実施。加計呂麻地区においては農業支援を実施し、耕作放棄地再生、援農による農作物の生産拡大、ECサイトを立ち上げ地域の農作物等の販路拡大に貢献した。西方地区においては、集落民とのワークショップによる地域資源の再活性化や、イラストで町や暮らしの魅力を発信(SNS、広報誌)する周知広報を行った。両隊員共にICT支援員としても活動を行い、各小中学校を訪問しながら「学校のICT化の促進」に貢献した。現在2名共に協力隊は卒業したが、協力隊の時と同じ集落に居住しており、協力隊の目的である定住・定着という目的は達成している。今後も、地域貢献活動の効果を継続していく為、協力隊の時から、卒業後の計画や町としてのフォロー体制の構築などを進めていく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画	係名	企画振興係	担当者名	手嶋
----	----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-1-4
事業概要	○地域おこしに取り組む町と就業体験を望む学生をマッチング		

会計区分		会計名	
事業名	島キャン		
施策の目的	離島での職業体験をしながら、島おこし活動を行い、島の魅力を捉え直し、離島同士の繋がりや離島に活気と潤いをもたらすことを目的としている。		
具体的な施策内容	地域おこし活動に取り組む離島市町村と離島でのインターンを希望する学生とをマッチングする。		

【経費内訳】											
款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)		
歳出内訳					歳入内訳						
節	細節	費目名		金額	細節	費目名					
		広域経費									
計				0	計				0		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
転入者数 (単位:人)	目標	446	452	458	464	470	C
	実績	417					
	目標						
	実績						

【評価】	
<p>当事業は株式会社カケハシスカイソリューションズが行う、地域おこし活動に取り組む離島と離島でのインターンを希望する学生とをマッチングする事業である。</p> <p>R2年度は新型コロナウイルス蔓延の影響により、瀬戸内町におけるインターン実績は無かった。しかし、コロナが落ち着いたアフターコロナの際には、本町と都心部の学生との重要な交流事業となり、離島部の現状を知ってもらう事や、若い視点でのアイデアによる地域活性化、将来の移住候補者、交流人口増へと繋がっていくことが考えられる。</p>	

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	中島
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-1-5	※事業No.47と同(再掲)
事業概要	○テレワークの場としての長期滞在者の支援 ○観光業や農業などの副業(体験)の場としての長期滞在者受入支援 ○ボランティア活動希望者等の受入支援			

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	持続可能ないきづくりに向けた戦略拠点形成事業		
施策の目的	コロナ禍における「新たな生活スタイル」への転換のため、戦略拠点としてサテライトオフィスを整備する。また、感染対策を講じる都市圏の企業等に対する新たな働き方への支援や、BCP対策への支援としてICTを活用したテレワークスペースを整備し、二拠点生活の促進を図る。更に、「ワーケーション」「町民の新たな働き方」の推奨のため、人材交流による官民連携強化で、瀬戸内町ならではの「自然文化・食」の付加価値を高める戦略を実行することにより、持続的に新しい人の流れをつくり、「町民が安心して暮らせる町」「自然環境の保全」「地域経済の好循環・活性化」の確立を図る。		
具体的な施策内容	・先進地視察旅費(200千円) ・需要費(259千円) ・役務費(100千円) ・拠点整備 基地局改修やリモート環境整備 (71,441千円)→清水地区の施設整備助成金 ・テレワークスペース、宿泊施設の空間リニューアル整備費助成 (10,000千円) ・指定管理者事業運営補助金(10,000千円) ★設計業務委託契約、指定管理者公募を実施。また施設の利用促進や地域内経済の好循環創出へ向けた各種施策を立案・具現化するための協議を官民連携で実施した。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	7	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
10	001	消耗品費				200	011	地方創生臨時交付金				92,000					
		R3への繰越額				91,800											
計						92,000	計						92,000				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
利用する企業数(年間契約)	目標		3	4	4	4	D
	実績						
利用者数(延べ)	目標		936	1248	1560	1600	D
	実績						

【評価】

●R2においては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、テレワーク・リモートワークに対応できる施設の整備計画を策定した。

R3には、テレワーク施設として改修した(すこやか福祉センター2F)の利用促進や、地域内経済の好循環を創出する施策として、地域内で遊休資産を有する事業所へ向けた「空間リニューアル助成事業」により、新たなコワーキングスペースや宿泊施設への改修費用を助成し、受入体制の整備を図る。

また、ワーケーションの“Vacation”の部分で利用できる施策として、一般家庭や農家などへの受入体制の構築や、SDGs社会実現のため、“海岸清掃体験”などのメニュー開発を図り、長期間また家族連れなどの活用促進に努める。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	中島
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-1
事業概要	○Wi-Fi環境の整備による入込客等の利便性の向上		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	空間リニューアル助成事業(持続可能なちいきづくりに向けた戦略拠点形成事業)		
施策の目的	町内の事業者等が所有する遊休資産等をウィズコロナ時代の新たな働き方や過ごし方に対応するべく、テレワーク施設または宿泊施設にリニューアルする経費の一部を助成することにより、本町への交流人口の拡大や地域内経済の好循環を創出することを目的とする。		
具体的な施策内容	改修等に係る経費を、1件当たり1,000千円を上限に助成する。 令和3年度において、広報誌や町ホームページでの周知及び住民説明会を開催し、町内事業所などに活用推進を図る。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		R3へ繰越		10,000		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			10,000
計				10,000	計				10,000

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
事業活用事業所数	目標	/	10	/	/	/	D
	実績	/	/	/	/	/	
	目標						
	実績		/	/	/	/	

【評価】

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業である「持続可能なちいきづくりに向けた戦略拠点形成事業」と連携する事業として計画している。
コロナの影響などにより遊休資産となっている施設等を、アフターコロナにおける観光客やワーケーション利用者におけるニーズに対応する施設へと改修することで、利便性の向上を図っていく。

※KPIの設定は、1事業所1,000千円(上限)×10事業所=10,000千円(予算額)

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	屋田 昂紀
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-1
事業概要	○「あまみシマ博覧会」による島の自然・文化等の発信		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	あまみシマ博覧会		
施策の目的	奄美群島の魅力を奄美群島民・観光客に知ってもらい、国内外に広く情報発信をしてもらうことを目的とする。		
具体的な施策内容	奄美群島の自然や文化、人材を活用した様々なプログラムを博覧会形式のイベントとして奄美群島全域にて同時期に開催。		

【経費内訳】														
款	7	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款		項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳						
節	細節	費目名				金額	細節	費目名						
18	1	奄美群島観光物産協会負担金				2,790								
計						2,790	計					0		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
登録プログラム数	目標	15	20	20	20	20	B
	実績	13					
利用者数	目標	100	100	100	100	100	C
	実績	59					
	目標						
	実績						

【評価】
 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は低く留まった。また、プログラム登録者は例年決まった事業者がほとんどであり、新規登録者が少ない。
 R2年度より公式HPからのオンライン予約や、デジタルパンフレットの閲覧も可となった。町HPや広報誌等を活用し、公式HPへの誘導を行うなど、利用者向け・事業者向けともに本事業の周知を図りたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	合田 和希
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-1
事業概要	○都市圏での移住フェア等へ参加し移住相談を実施		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	首都圏等での移住相談会の参加		
施策の目的	奄美群島広域事務組合を中心に大都市圏での移住相談会に毎年参加し、奄美群島の交流人口の拡大・定住の促進に取り組む。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での移住相談会への参加(東京・大阪など計7回) ・移住体験ツアーやフリー滞在プログラムへの参加 		

【経費内訳】																
款		項		目		事業	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳						歳入内訳										
節	細節	費目名			金額	細節	費目名									
		広域事務組合への負担金														
計					0	計					0					

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
移住体験住宅利用世帯数	目標	10	10	11	11	12	B
	実績	7					
移住体験住宅利用者の移住世帯数	目標	1	1	1	2	2	A
	実績	1					
	目標						
	実績						
【評価】							
令和2年度実績(奄美群島全域の数)							
(1)都市部での移住相談会の開催:6回13組16名 (全てオンライン開催)							
(2)フリー滞在プログラム:6組6名参加							
(3)移住体験ツアー:6組7名参加							
(4)オンライン相談会:8回27組							
奄美群島広域事務組合を中心に奄美群島全域での移住支援を進め、今後も、各事業等の参加者に対し瀬戸内町への移住・定住に向けた情報を発信していく。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	合田 和希
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-1
事業概要	○住居・生活・仕事をサポート(UIOターン支援情報提供事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	UIOターン支援情報提供事業		
施策の目的	奄美群島の活性化に向けた定住・交流人口拡大のため、奄美群島一体となったUIOターン支援を移住希望者等に対して行う。		
具体的な施策内容	(1)ねりやかなやHPによる情報発信 (2)問い合わせ窓口の一本化 (3)移住体験ツアーの開催 (4)オンライン移住相談会の実施 (5)フリー滞在プログラムの実施		

【経費内訳】																	
款		項		目		事業		(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
		必要経費なし															
計						0	計						0				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
転入者数 (単位:人)	目標	446	452	458	464	470	C
	実績	417					
	目標						
	実績						

【評価】

奄美群島の課題として、若年層を中心とした人口流出及び高齢化が著しく、経済規模の縮小や担い手不足による産業の衰退が懸念されるとともに、維持・存続が危ぶまれる集落の問題が顕著化しており、地域の活性化を図るため、移住者受入体制を今後も継続して整備することが必要である。

また、移住希望者は、南の島への関心があるのであって行政区域の意識はないことが多く奄美群島全体として移住支援を進めていく必要性から広域事務組合を中心に奄美群島UIOターン支援協議会を設置し、情報発信の一元化や官民協働を推進していく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	信島 浩司
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-2
事業概要	○本町でしか味わえない体験をととした着地型滞在型観光		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町旅行商品造成事業		
施策の目的	町内の魅力ある観光メニュー体験等により、観光客の増加・定着を図る。		
具体的な施策内容	奄美せとうち観光協会と連携し、観光客を対象にプレミアム分を付加した利用券(20%)を販売するとともに、購入者にアンケートを実施し、体験メニュー提供者にフィードバックすることで、新規メニューの開発や既存メニューのブラッシュアップを図り、観光客の増・定着を目指す。5,000円綴り(6,000円分)×1,900セットを販売した。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	7	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	5	節	1	(単位:千円)	
歳出内訳								歳入内訳										
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額		金額		金額		金額		金額	
10	1	消耗品費		106		10	奄美らしい着地型・滞在型観光推進事業		2,098									
10	3	印刷製本費		793			(一般財源)		901									
18	2	プレミアム利用券補助金		2,100														
計				2,999		計				2,999								

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
プレミアム利用券販売数	目標	1900	1900	1900	1900	1900	B
	実績	1900					
観光客満足度	目標	80%	80%	85%	85%	90%	B
	実績	88%					

【評価】

令和元年度より実施しており、令和2年度は2年目となる事業。新型コロナウイルスの影響により利用人数は前年度より減少したが、1,900セット完売できた。観光客にはたいへん好評で、購入時に実施したアンケート調査を集計・分析し、令和3年度実施の同事業へ反映させ、常に魅力ある観光メニューの提供に努める事で、町内への集客をさらに高めていきたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	合田和希
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	2	項目	2-2-2
事業概要	○本町に移住を希望する者に住宅を提供(移住体験住宅)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	移住体験事業		
施策の目的	瀬戸内町に移住等を希望する方が、シマでの生活体験ができる移住体験住宅を利用することにより、移住・定住の促進や集落の活性化に資することを目的とする。		
具体的な施策内容	移住体験住宅の場所：嘉鉄・押角(各1戸) 移住体験住宅の使用期間：最低1週間から最長6箇月 移住体験住宅の使用料：1泊2千円、1ヶ月50千円(光熱水費を含む。)		

【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	17	事業	2	(単位:千円)	款	13	項	1	目	1	節	2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	節	細節	費目名				金額				
10		需用費				240	005	移住体験住宅使用料				295					
11		役務費				21											
12		委託料				114		一般財源				181					
13		使用量及び賃借料				101											
計						476	計						476				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
移住体験住宅利用世帯数	目標	10	10	11	11	12	B
	実績	7					
移住体験住宅利用者の移住世帯数	目標	1	1	1	2	2	A
	実績	1					
【評価】							
<p>●令和2年度実績 13名7世帯 (嘉鉄:8名4世帯)(押角:5名3世帯)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、5月から9月までの期間、利用を休止した。</p> <p>また、住宅確保困難者への緊急措置として、当住宅の利用ができるよう、役場内で横断的な組織(我が事丸ごと事業「すまい部会」)を構築し、連携強化に努めている。</p> <p>今後も、地域活性化また持続可能な集落形成に繋げられるような人材確保を目指し、適切な施設運用を図っていく。</p>							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-2
事業概要	○請島の豊かな自然環境の中で自然体験学習を行う機会を提供		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	請阿室自然体験事業		
施策の目的	請島の豊かな自然環境の中で、施設利用者が野外活動や自然観察、集団生活を行いながら、自然の大切さを学ぶことで、豊かな心を養っていくことを目的とする。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・請阿室集落、池地集落、ナショナルパークツーリズムてしかがが「請島における地域活性化包括連携協定書」を締結(R2.7.7) ・町とナショナルパークツーリズムてしかがが普通財産無償貸付の契約を締結(R2.7.8) ・ナショナルパークツーリズムてしかがへの無償貸付スタート(R2.8.1) 		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	17	事業	3	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		節	費目名				金額				
10		水道料等				185			(一般財源)				394				
12		委託料				209											
計						394		計						394			

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
施設利用数(人泊)	目標	20	/	/	/	/	D
	実績	0	/	/	/	/	
	目標		/	/	/	/	
	実績		/	/	/	/	

【評価】

- ・令和2年度にナショナルパークツーリズムてしかがへ5年間の無償貸付を行っているため、令和3年度以降の事業実施は無し。
- ・令和4年度に町がシロアリ駆除対策を行う。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	屋田 昂紀
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-2
事業概要	○戦跡や白糖工場跡などを活用した文化・歴史の発信		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美歴史浪漫探訪整備事業		
施策の目的	大河ドラマ「西郷どん」放映を機に全国から奄美大島が注目されたことに伴い、奄美大島5市町村の歴史や関連する資源を活用した周遊ルートの整備を行い来島する観光客に提供することで、観光客の満足度向上と各市町村への経済波及効果を図る。		
具体的な施策内容	奄美大島5市町村で歴史をめぐる周遊ルートを作成。それに伴い久慈水溜跡・久慈白糖工場跡に案内板、解説版を設置する。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
ルート整備数	目標	0	5	5	5	5	D
	実績	0					
	目標						
	実績						

【評価】

H30年度にルート・パンフレットを作成。令和3年度中に案内板、解説版を設置予定である。
 各案内板、解説版設置完了後は島の玄関口である奄美空港・名瀬港・古仁屋港に可動式の総合案内版及びパンフレットを設置し、メディア露出効果及び世界自然遺産登録効果による観光客の増加を見据え、来島者へ本ルートの周知を行う。
 本事業では、幕末・明治の歴史、浪漫をめぐるルートを作成しており、今後は戦跡等も含めて観光資源としての活用を検討する。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	社会教育課	係名	生涯学習係	担当者名	梶 丈太郎
基本目標	2	項目	2-2-2	※No.127と同	
事業概要	○戦跡や白糖工場跡などを活用した文化・歴史の発信				

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	埋蔵文化財調査費																
施策の目的	本事業は、瀬戸内町内の埋蔵文化財を把握し保護することを目的とする。 また、確認された遺跡は、開発事業との円滑な調整を行うのみでなく、郷土教育や観光にも活用し、地域の活性化を図る資源として活かすことも目的としている。																
具体的な施策内容	本事業では、瀬戸内町内の埋蔵文化財の分布や内容を把握し、遺跡の保護・活用及び開発事業との調整を行っている。また、近代遺跡(戦争遺跡等)については、国庫補助事業を活用して調査を実施しており、関係機関と連携・協力し、情報の共有化を図りながら、より良い調査・保存・活用方法の検討に努めている。令和2年度は、これまでの調査成果の整理を行い、調査成果を活かした講座等を実施した。																
【経費内訳】																	
款	10	項	5	目	4	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	4	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額	節	細節	費目名			金額						
1・3		報酬・手当			2,683	1		文化財保護事業補助金(国庫補助分)			4,322						
4		共済費			401	1		文化財保護事業補助金(県補助分)			229						
7		報償費			60												
8		旅費			906			(一般財源)			4,967						
10		需用費			403												
12		委託料			4,886												
13		使用料及び賃借料			179												
計					9,518	計					9,518						

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
埋蔵文化財の広報・活用 ※R6の10講座/年に向けて段階的に設定	目標	6	7	8	9	10	B
	実績	6	/	/	/	/	
	目標						
	実績		/	/	/	/	
【評価】							
<p>●補助事業等調査で得られた成果については、報告書を作成するための資料整理・補足調査(5箇所)を実施した。報告書は、令和3年度に刊行予定である。</p> <p>埋蔵文化財に係わる開発協議及び手順が周知されるようになってきたため、埋蔵文化財の保護と開発事業の円滑な調整が適切に行われるようになってきている(照会箇所10箇所)。</p> <p>遺跡の活用事例は、新型コロナウイルス感染症の影響により、島外者の調査や案内は減少した。しかし、島内の学校や島民の近代遺跡(戦争遺跡等)を活用した平和教育利用が増加(6件約130人)した。</p> <p>令和3年度以降は、世界自然遺産登録や報告書刊行の影響により、埋蔵文化財活用事例の増加が見込まれる。</p>							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まちひとしごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-2
事業概要	○農泊や農業体験をととしたインバウンド(農山漁村整備事業)		

※No.48(廃校活用)と同事業。再掲。

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農山漁村振興交付金事業(旧久慈小中学校活用)		
施策の目的	旧久慈小中学校の活用に向け、地域が抱える課題解決を図り、将来にわたって自立的発展を成し遂げていくため、本地域独自の自然景観・文化、農林水産物や水産加工品等、様々な地域資源を十分に活用する。また、農業体験型・滞在型観光メニューの造成や民泊を含む宿泊業者と連携しながら、交流人口・滞在人口の増加を図る。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・通過型観光から滞在型観光への転換で、観光客の滞在期間の増につなげる。 ・新たな産業の誘致・起業支援として、旧久慈小中学校の校舎の一部を改修し、ワーケーション施設を整備する。 ・本地域でとれた野菜や果物、魚を素材とした料理、本地域で作られた魚醤で調理された料理を提供する。 ・地域の魅力を積極的に情報発信として、本地域の宿泊施設や食事処、体験プログラムを紹介する。 ・循環型農業を実現し、地産地消カフェを整備する。 		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
宿泊者数(人)	目標	/	/	100	500	600	/
	実績	/	/	/	/	/	
売上高(宿泊・食事・体験)(千円)	目標	/	200	1,000	1,500	2,000	/
	実績	/	/	/	/	/	
	目標	/	/	/	/	/	/
	実績	/	/	/	/	/	

【評価】

- ・令和3年度の進捗状況等を踏まえ、令和4年度はワークショップを2回、協議会を3回ほど開催し、事業全体の進捗確認と、より具体的に計画の深化を図っていく。
- ・全体事業計画が誰にでも見やすくわかりやすく、イメージしやすいようにするため、イラストを作成する。
- ・宿泊施設確保に向け、具体的に設計及び建設に取り組む。また、運用方法について、収支の考え方や管理体制などを検討する。また、宿泊施設のオンライン予約や本地域の魅力発信のため、情報発信の仕組み作りを行う。
- ・魚醬づくりのための施設整備を行うため、具体的に設計及び建設に取り組む。資金をクラウドファンディングで集められないか検討する。
- ・本地域は、幕末から明治期の日本の近代化を支えた歴史的な施設や戦跡などが数多く残されているため、これら施設を観光コンテンツとして活用することを検討する。また、感染症対策をしっかりと考慮した上で、実際に戦跡巡りツアーを実施し、観光コンテンツとして確立を目指す。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画	係名	企画振興係	担当者名	手嶋
----	----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-2-3	※施策No.7と同(再掲)
事業概要	○多言語による情報提供やコミュニケーションの向上			

会計区分	一般会計	会計名																	
事業名	奄美群島広域事務組合負担金(地域通訳案内士事業)																		
施策の目的	観光人材のインバウンド対応能力(接客能力、業務改善能力など)を高め、観光サービスの質を向上させることにより、訪日外国人旅行者等の地域への誘客・長期滞在や消費拡大へ繋げる。																		
具体的な施策内容	①奄美群島広域事務組合主催の研修を実施。(通訳案内士、語学、ホスピタリティ、地元学、旅程管理、実地研修、救命研修) ②研修修了試験の実施 ③地域通訳案内士の登録 ④地域通訳案内士登録後も定期的なスキルアップ研修を実施																		
【経費内訳】																			
款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)		
歳出内訳								歳入内訳											
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額								
18		負担金			5,598			一般財源			5,598								
計								5,598		計								5,598	

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準値 H28→2,911人	目標	2,960	2,970	2,980	2,990	3,000	D
	実績						
事業所数 ※基準値 H28→537事業所	目標	539	540	542	546	550	D
	実績						
【評価】							
<p>当事業は奄美群島広域事務組合が群島内各市町村からの負担金によって行う奄美群島成長戦略ビジョン実現推進事業の一部である。</p> <p>平成28年に事業が開始されて以降、群島全体で129名(英語101名、中国語28名)の方が地域通訳案内士の研修を終了している。その内瀬戸内町在住者からは6名(英語5名、中国語1名)の方が研修を終了している。</p> <p>当事業は、今後の世界自然遺産登録後に見込まれる訪日外国人旅行者等の需要増加に対し、観光人材の対応能力向上の役割を担っており、誘客や長期滞在促進及び消費拡大へと繋げる為にも無くてはならない事業である。現在のコロナ過の時期を活用し、現在の地域通訳案内士へのスキルアップ研修を実施するなど、広域事務組合と協力していく。</p> <p>※KPI設定は、総合戦略におけるR6の目標値を設定。R2からは目標に向けて、年次的に上昇。 数値確定は、「経済センサス」において、年度終了の2年後に公表される。</p>							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	屋田 昂紀
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-2-3
事業概要	○外国人を受け入れるための仕事や住居を関係機関と連携して支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	外国人人材の受入の取組		
施策の目的	世界自然遺産登録を契機として、外国人観光客がこれまで以上に本町にも訪れることが予想されるため、受入体制の強化が重要である。また、働き手不足の緩和と町内産業の活性化を図るため、外国人人材の受入にも取り組む。		
具体的な施策内容	認定エコツアーガイドと地域通訳案内士の連携によるスキルアップを図るために、オンラインツアーの実施、ガイドツアーに特化した動画の配信による、インバウンドを含む観光客へのPR及びモニターツアーを実施した。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		広域事務組合への負担金							
計				0	計				0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
地域通訳案内士	目標	5	7	9	9	10	
	実績	5	/	/	/	/	
	目標						
	実績		/	/	/	/	

【評価】

今後、認定エコツアーガイドや地域通訳案内士のさらなるスキルアップのため、研修会を実施するとともに、外国人に対応できる人材を発掘・育成していく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	合田和希
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○空き家情報の登録(空き家バンク制度)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町空き家等情報登録制度(空き家バンク)		
施策の目的	空き家の賃貸又は売却を希望する所有者の物件を町HP等に掲載し周知を行い,利用希望者に紹介することで,集落の人口増や活性化に繋げ,老朽危険家屋予備軍の減少にも資する事を目的とする。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家所有者に情報を提供して貰い本町HP等で情報を公開 ・利用希望者が申込書を提出し空き家所有者に情報を提供 		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
年間延べ掲載件数	目標	2	2	2	3	3	C
	実績	0					
	目標						
	実績						

【評価】

移住相談等でも問い合わせが多くあるが,空き家の家主の理解が得られなかったり,地域提案型利用物件についても入居者が既に決まっていたりするなど掲載件数が伸びない現状である。
今後,空き家の家主をはじめ,集落への周知を広報誌や町HP等で積極的に行い,掲載件数の増加に繋がっていきたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	合田和希
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○定住促進事業により将来にわたり本町での生活基盤を提供		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	定住促進対策事業		
施策の目的	本町への移住者が、町内に生活基盤を置くための施策を実施することにより定住促進を図り、集落の活性化及び人口減少抑制に資することを目的とする。		
具体的な施策内容	定住促進住宅設置場所（計8戸） ・本島側 家賃20千円 手安・油井・西古見 ・加化呂麻側 家賃15千円 薩川・花富・押角・於齊・芝 入居できる期間：最長12年間		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	17	事業	4	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
10	005	修繕料				440		一般財源								440	
計						440	計								440		

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
当事業住宅整備数	目標	8	8	8	8	8	A
	実績	8					
	目標						
	実績						

【評価】

●令和2年度実績 全8戸中7戸に入居 定住促進住宅使用料 1,380千円(令和2年度回収率100%)
 これまで整備した当住宅に関しては、13世帯39名の方が利用し、定住者についても10世帯34人(定住率:87%)であった。
 当住宅に関しては、地域提案型事業の空家利活用事業に重点を移したため、今後、新たに整備する予定は現況において「無し」である。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	合田和希
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○集落にある空き家を集落主体で改修するための経費を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域提案型事業補助金(空き家利活用)		
施策の目的	集落内にある空き家を改修し、移住希望者等に体験住宅や民泊施設を提供することにより、定住促進と集落活性化を図る仕組みを作ることを目的とする。		
具体的な施策内容	交付金1件あたり1,300千円を上限に、総経費の8/10以内の額を補助。 空き家の改修や民泊等施設への改修費用を助成。 R2においては、瀬武2件・西阿室1件・薩川1件・池地1件(合計5件)の事業活用となった。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
18	002	地域提案型事業				4,515		一般財源				4,515					
計						4,515	計						4,515				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
交付決定件数	目標	2	2	2	2	2	A
	実績	5					
	目標						
	実績						

【評価】

平成30年度からの事業となり、これまでの実績として、薩川集落 3件・西阿室集落 2件・瀬武集落 2件・池地集落 1件、計8件の空き家を改修し、その全ての住宅で入居が決まるなど、事業活用集落において十分地域活性化に資する事業となっている。

今後も継続して事業を実施し、空き家対策の展開を拡充し集落の活性化に繋げていきたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	町民生活課	係名	児童母子係	担当者名	平瀬 雄二
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○定住促進と切れ目ない子育て支援 (出産祝金・入学祝金「小学校・古仁屋高校」)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	地域活性化定住促進事業(出産・入学祝金支給事業)		
施策の目的	<p>【出産祝金】 本町に住所を有し居住している者の出産に対してこれを祝福し、出生児の健やかな成長に寄与するため、瀬戸内町出産祝金を支給する。町の将来の活力を支えていく子どもの出生を奨励することを目的とする。</p> <p>【入学祝金】 小学校及び高校に入学された児童・生徒を養育している方に祝金を支給することにより、次代を担う児童・生徒の健全育成を目的とする。</p>		
具体的な施策内容	<p>【出産祝金】 50,000円×77名=3,850,000円</p> <p>【入学祝金】 小学校入学 50,000円×71人=3,550,000円 高校入学 50,000円×25人=1,250,000円 合計 4,800,000円 ※地方債は過疎ソフ債</p>		

【経費内訳】																	
款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
19	34	扶助費				8,650	4	地方債				6,000					
								(一般財源)				2,650					
計						8,650	計						8,650				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子育て世帯の経済的負担軽減施策の満足度※アンケートはR6年度終了時に実施予定	目標	/	/	/	/	80%	/
	実績	/	/	/	/	未定	
	目標						
	実績						
【評価】							
●切れ目ない支援と定住促進、地域活性化にもつなげ、満足度向上を目指す。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	建設課	係名	都市整備係	担当者名	宮本
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○本町内の快適な住宅環境を保つため住宅リフォームを助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	住宅リフォーム等経済対策事業		
施策の目的	町民の居住環境の向上と住宅投資の波及効果による地域経済の活性化を図ることを目的とする。		
具体的な施策内容	住宅の居住スペースにかかるリフォーム工事。 リフォーム等工事に要する費用(消費税及び地方消費税の額を含む。)が50万円以上であること。 50万円以上の工事費について、一律10万円を補助。		

【経費内訳】

款	8	項	6	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名			金額	細節	費目名										
18	2	83 住宅リフォーム等経済対策事業			2,000		一般財源										2,000
計					2,000	計											2,000

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
リフォーム等の件数	目標	20	20	20	20	20	A
	実績	20					
	目標						
	実績						

【評価】

令和2年度住宅リフォーム等経済対策事業について20件募集をかけたところ、20件の申請があった。募集締め切り後も、リフォーム助成に関する問い合わせがきており町民の関心も高いことから、令和3年度においても前年と同様20件募集をかける。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	介護福祉係	担当者名	森 吉広
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	2	項目	2-3-1
事業概要	○地方移住を望む高齢者の希望実現(日本版CCRC)		

会計区分		会計名	
事業名			
施策の目的	生涯活躍のまち(日本版CCRC)の推進		
具体的な施策内容	現行の移住関連事業に高齢者向け施策を加える ・移住希望高齢者向け施策資料の作成、広報 ・集落や社会資本(サロン、各種教室、老人クラブ等)の資料作成、広報 ・効果的な高齢者施策を展開するために官民合同の事務局の設置を検討		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
転入者数 ※基準値R1→441人	目標	447	453	459	465	470	C
	実績	417					
	目標						
	実績						

【評価】

R2年度において、具体的な施策をもって、移住関連事業担当課との連携を図れなかった。
 今後、「本町への新しいひとの流れをつくる」という基本目標へ向けた本事業に係る取組については、本町の実情を踏まえた各種施策を実施しながら、将来的に多世代が住みたいと思う魅力的なまちづくりを目指していく。

※KPI設定は、基本目標2に掲げる「転入者数」とする。目標である、R6年度の470人以上/年へ向けて、年次的に上昇値を設定する。